



米沢市報道資料

令和7年度「米沢市協働提案制度補助金」
公開プレゼンテーションを開催します

令和7年5月8日
地域振興課地域振興担当
電話 22-5111

(内線 2806)

本市における市民と行政の協働に関する基本原則を定めた「米沢市協働推進条例」に基づく、令和7年度米沢市協働提案制度補助金の公開プレゼンテーションを下記のとおり開催いたします。

記

1 日 時 公開プレゼンテーション
令和7年5月15日(木)15:00～18:00(予定)

2 場 所 米沢市役所 3階 庁議室・303会議室

3 提案内容及びタイムテーブル
別紙参照

4 補助金制度概要

この補助金は、主に公益的な活動を行う団体が、米沢市内において、米沢市民を対象とする公益的な事業を実施しようとする場合に、市がその実施を支援することを目的として補助金を交付するものです。

採択事業について、市は提案者との協議に基づき、補助金の交付以外にも事業の後方支援を行います。

- ・補助金制度創設：平成 26 年度
- ・補助金額：50万円(上限) ※予算総額300万円
- ・補助率：補助対象経費の10/10
- ・審査：米沢市協働推進市民会議(米沢市協働推進条例に基づき設置)
- ・事業の流れ： ①提案書提出 →②提案者による公開プレゼンテーション
→③協働推進市民会議による審査 →④審査結果を市長へ答申
→⑤市長から提案者に結果通知 →⑥採択事業について事業実施
- ・参考：米沢市ホームページ [米沢 協働提案](#) で検索

令和7年度 協働提案制度補助金 公開プレゼンテーション タイムテーブル（発表順）

○準備時間：1分、発表時間：7分、質疑時間：3分

時間(目安)		提案者名
15:05～	準備	①特定非営利活動法人 雲井龍雄顕彰会 幕末米沢藩士 憂国の士「雲井龍雄」の顕彰と広報活動 (継続2年目)
15:06～	発表	
15:13～	質疑	
15:16～	準備	②米沢御堀端史蹟保存会 上杉衆 これぞ芋煮会 (継続3年目)
15:17～	発表	
15:24～	質疑	
15:27～	準備	③猫のひなたぼっこ 猫と人が共生できる、住みよい地域づくり創生事業 (継続2年目)
15:28～	発表	
15:35～	質疑	
15:38～	準備	④特定非営利活動法人 から・ころセンター 『子どもの居場所』～米沢で生きる力を考える～ (継続2年目)
15:39～	発表	
15:46～	質疑	
～16:00 (休憩約10分)		
16:00～	準備	⑤Zero Waste Walk (ZWW) ～気候変動と暮らしをつなぐ地域循環プロジェクト～ (継続2年目)
16:01～	発表	
16:08～	質疑	
16:11～	準備	⑥公益財団法人 農村文化研究所 農村文化の保全と未来への伝承 (新規)
16:12～	発表	
16:19～	質疑	
16:22～	準備	⑦伊達三日月街道活性化協議会 伊達三日月街道活性化事業(食育・旅・PR) (3年目 :R2・R3補助金利用実績あり)
16:23～	発表	
16:30～	質疑	
16:33～	準備	⑧米沢さしこの会 米沢さしこの会スタートアッププロジェクト (新規)
16:34～	発表	
16:41～	質疑	
～16:55 (休憩約10分)		
16:55～	準備	⑨特定非営利活動法人 With優 地域を巻き込んだ基金の拡大プロジェクト～「あきらめなくていいんだよ」と声をかけられる社会を目指して～ (新規)
16:56～	発表	
17:03～	質疑	
17:06～	準備	⑩米沢盆踊り保存会 「米沢のまちなかに人を呼び込み、活気あふれる地域へ！」 (新規)
17:07～	発表	
17:14～	質疑	
17:17～	準備	⑪特定非営利活動法人 三條かの記念館 アウトリーチ事業(出張コンサート) (新規)
17:18～	発表	
17:25～	質疑	
17:28～	準備	⑫「自力本願の地 米沢」推進協議会 鷹山公の精神を未来へつなぐ～市民と共に育む観光の魅力～ (新規)
17:29～	発表	
17:36～	質疑	
17:39～	準備	⑬米沢古武道興義会 武道団体紹介冊子の作成・配布 ならびに 演武会の開催 (新規)
17:40～	発表	
17:47～	質疑	
17:50		閉会

令和7年度 米沢市協働提案制度補助金 提案団体一覧

No.	提案者名	新規・継続	提案の名称	提案概要	提案の形態	行政課題の名称	関係課	総事業費 (円)	補助希望額 (円)
1	特定非営利活動法人 雲井龍雄顕彰会	継続2年目	幕末米沢藩士、愛国之士「雲井龍雄」の顕彰と広報活動	・ 昨年度、雲井龍雄の偉業、足跡を表した冊子を制作し、同時代の幕末米沢の歴史を顕彰しながら、市内の小、中、高校に配布し、地域の歴史、文化の保護を活性化しながら人材の育成と定着を行う事業を終了しました。 ・ 今年度は作成した冊子を基に高校生共同で幕末米沢の歴史についてのフォーラム開催を企画します。合わせて雲井龍雄関連の講師を招いての講演会開催も予定します。 ・ 雲井龍雄の寄贈等は林泉寺に近い「常安寺」にあります。境内には大正時代の米沢市民有志の方々と共同で建立された墓と、また「雲井龍雄顕彰会」が建立した龍翁が山門に建っています。訪れる観光客の方も多く見られます。残念なことに境内の案内板が未整備になっており、昨年度新たに看板の設置を計画しましたが、達成できませんでした。今年度、再度協働提案制度補助金事業を活用し完成したいと考えています。 ・ 詩人としての雲井龍雄の漢詩は今なお全国の詩吟愛好家の方々に吟じられています。これらの方々にも完成した冊子を配送し、情報発信と共に、芸術文化の振興と合わせて同人コミュニティ形成と参加促進に寄与できるように活動します。	行政課題型	5.市民と学生の交流推進 14.地域資源を活用した観光の振興 21.芸術文化の振興	社会教育文化課	950,000	500,000
2	米沢御堀端史蹟保存会	継続3年目	上杉衆 これぞ芋煮会	この芋煮会は参加者が自分で竈に火をくべ、自分で料理する体験型芋煮会です。米沢藩の時代雰囲気を感じ出す会場設営とさすが「米沢牛杜立て」といわれるタッパリ米沢牛を使った芋煮鍋を提供します。	市民発案型	-	観光課	890,000	500,000
3	猫のひなたぼっこ	継続2年目	猫と人が共生できる、住みよい地域づくり創生事業	米沢市内の野良猫、捨て猫はとても多い。野良猫の寿命は3、4年と言われているが、それでも多くの野良猫によって、糞害に困っている人、近所でたくさん増えて困っている人がいる。一方、餌にだけやって野良猫の繁殖につながっている事例も多い。最近では猫の虐待や、飼いがいなくなった多頭飼育箱で行き場のない猫に困るという事例も多い。 米沢市は昨年度から公的な補助金が交付されるようになったが、それ以上に自分で費用を負担して避妊や去勢手術を行い、自宅の猫として保護して飼育したり、外猫として世話をしたりしている人が依然として多いのが現状である。 これらの現状に対して、昨年度実施した我々のグループでは、上記のような課題がある市民に対して、アドバイスをしたり、避妊・去勢手術の補助金を含めたサポートを行ったり、望まれない命を増やさない、繁殖を低減していく取組を引き続き行ってきたい。	市民発案型	-	生活安全課	500,000	500,000
4	特定非営利活動法人から・こうセンター	継続2年目	『子どもの居場所』 ～米沢で生きる力を考える～	不登校や経済的貧困等々、様々な課題を抱え、大切な成長期間を孤独に過ごしている米沢市内の子ども達を対象として、家庭や学校だけでは補いきれない「体験活動」や「安心して過ごせる環境」を地域でカバーする「子どもの居場所」の拡充を目指す。民生児童委員、関心のある米沢市民、学生ボランティア等、地域の人々を広く巻き込んでいくことを目指しています。 (ピアサポーター)が持つ当事者の目線を取り入れることによって、事実上教育機関や行政・福祉にその多くを依存する子どもの問題を、米沢という地域全体で考える風土を醸成する。	行政課題型	9.子育てに寄り添うまちづくりの推進	こども家庭課 学校教育課	550,000	500,000
5	Zero Waste Walk (ZWW)	継続2年目	～気候変動と暮らしをつなぐ地域循環プロジェクト～	ZWW (Zero Waste Walk) は、気候変動や環境問題への理解を深めながら、地域住民が自発的に行動できる場をつくる市民参加型のコミュニティプロジェクトです。 2021年に米沢市で始まり、4月-11月までの毎月決まり活動や環境レクチャー、交流イベントを開催し、これまでに延べ700名以上、0歳から10代まで幅広い世代が参加しています。(米沢だけでなく山形県内各地にもオファーいただき開催することが増えてきました。) 活動を通じて見てきたのは、気候変動への市民の関心や理解がまだ十分ではないということです。 しかし「気候変動」はなぜ「気候危機」なのか、さらには「気候破壊」へと深刻さを増し、私たちの暮らしに確実に影響を及ぼし始めています。 ZWWでは、まず「知る」ことから始め、身近な行動としてのゴミ拾いやイベント、ワークショップ、グッズ制作などを通じて、地域の人々とともに環境への意識を高め、日々の暮らしを少しずつエシカルな方向へとシフトさせていくことを目指しています。	行政課題型	6.環境問題等の解決のための連携の推進	環境課	520,000	500,000
6	公益財団法人 農村文化研究所	新規	農村文化の保全と未来への伝承	当法人が運営する置賜民俗資料館では、数多くの農民・民衆が展示・収蔵されているが、文化的・歴史的にも価値が高いものであり、後世に伝承・伝示していく必要がある。また、本市の中心部である上杉鹿山公が農村部に与えた影響は大きく、その功績や歴史についてまとめたデジタル紙芝居（デジタルブック）を作成し、各校の社会科の教材に活用してもらう。さらに、大学教授などの専門家だけでなく、地元商家や住民などを講師として伝統的な農法や祭事などについてのゼミナールを開催し、地域や世代を超えた交流する機会を創出する。	行政課題型	22.文化財の保存と活用	社会教育文化課	695,000	500,000
7	伊達三日月街道活性化協議会	継続3年目	伊達三日月街道活性化事業（食育・旅・PR）	伊達家ゆかりの地域を結んだ伊達三日月街道（伊達政宗生誕地館山城（米沢市・赤芝・鹿山・遠山地区を起點に米沢市・広瀬地区・川原町・高倉町、七ヶ宿町・桑折町、白石市・鹿田町、岩沼市を経由し仙台城（仙台市）に至る）域内の埋もれた宝の掘り起こしや文化的・教育的見地からの地元再発見等の伊達街道のコンテンツを当協議会の全体事業及び地区ごとに折り込み、街道の特性である連続性を生かし相乗効果による活性化を図ることにより仙台から米沢への集客力アップに繋げる。	市民発案型	-	地域振興課	490,000	490,000
8	米沢さしこの会	新規	米沢さしこの会スタートアッププロジェクト	米沢には米沢藩下級武士原方衆の妻が刺した刺し子が伝承されてきた。その「原方刺し子」はある特定階級、性別が限定され、その伝承者も米沢で1人となり伝承を危惧されていた。その伝承のため、阿部孝平氏（山形県大村）によって調査保存されてきた。しかし、2024年11月最後伝承者が事業を終了し現在、原方刺し子を名乗れる人は皆無となり、米沢の刺し子文化が断絶の危機にある。 そのため、会を立ち上げる活動のスタートアップの支援を頂きたい。 ・ 米沢さし子の会の情報インフラの作成（ホームページ、SNS）。 ・ 原方刺し子の伝承の機会を設けた「米沢藩下級武士原方衆の妻」限定性を現代に含ませて緩やかに解放し、老若男女、貧富の差別無く誰でも気軽に原方刺し子にふれてもらうことの出来る様な機会を創出するワークショップの実施。 ・ 「原方刺し子」という名称から「米沢さしこ」として現代社会にあわせた地域の技術伝承をゆるやかに無理なく実施する事。	市民発案型	-	社会教育文化課	820,000	500,000
9	特定非営利活動法人 W i t h 機	新規	地域を巻き込んだ基金の拡大プロジェクト ～「あきらめなくていいんだよ」と声をかけられる社会を目指して～	本事業は令和6年10月に設立した完全結付型の「子どもの未来を支える里親基金」をより多くの市民に知っていただき、賛助会員を募集し期間を区切ってプロジェクト形式で協力いただける飲食店等の店舗等に募金箱50箱を設置してもらい、地域課題を知ってもらうと共に気軽に市民が支援を必要とする子ども達を支援できる場を広げていく。	行政課題型	9.子育てに寄り添うまちづくりの推進	こども家庭課	654,548	500,000
10	米沢盆踊り保存会	新規	「米沢のまちなかに人を呼び込み、活気あふれる地域へ！」	鎌倉公の時代から唄い継がれてきた歴史ある米沢の盆踊り。 私たち米沢民謡一家・米沢盆踊り保存会が、その伝統を守りながら後世へとつなげていきます！ 「踊る・楽しむ・広める」 みんなで創る新しい盆踊りで、米沢のまちを思いっきり元気に！	市民発案型	-	都市計画課	500,000	500,000
11	特定非営利活動法人 三條かの記念館	新規	アウトリーチ事業（出張コンサート）	米沢市内外に在住する多くの有能な演奏家に演奏を依頼し、米沢市内の小・中学校、養護学校などを訪問して生徒たちに生演奏を聴くことのできる機会をつくる。そして、音楽のもつ素晴らしい楽しさを届け、心が豊かになる経験をしてもらう。また、音楽家を目指すお子さんが増えるきっかけとなることを期待している。年に1回、本事業に携わった演奏家によるコンサートを三條かの会館にて開催する。	市民発案型	-	社会教育文化課 学校教育課	525,000	500,000
12	「自力本願の地 米沢」推進協議会	新規	鹿山公の精神を未来へつなぐ～市民と共に育む観光の魅力～	米沢市は、国難した藩財政を強い意志をもって立て直し、繁栄の礎をつくった上杉鹿山公の「ななねば成らぬ精神」が息づくまちです。何事も前向きに挑戦することを後継した鹿山公の心意気は、自分の力を信じてあきらめずに実行することの大切さを教えてくれます。この教えを未来へ受け継ぐために、市民が鹿山公の精神や志を自分の人生や仕事で実践すること、またその誇りが継承される、新たな挑戦への意欲が生まれると考えます。本事業は、市民が鹿山公の精神を学び歴史と精神性を理解し、それを活かした情報発信や交流を通じて、訪れる人々の満足度を高め、滞在時間の延長やリピートの増加につなげます。また、既存の観光名所に加え、鹿山公の精神に共感し、その思想や生き方を学びたいと考える観光客が、学びと体験を通じてその精神に触れられる機会づくりを目指します。	行政課題型	14.地域資源を活用した観光の振興	観光課	700,000	500,000
13	米沢古武道義興会	新規	武道団体紹介冊子の作成・配布 ならびに 演武会の開催	米沢市は上杉の城下町であることから、米沢市で活動している武術・武道を未来に繋ぎたい。生涯学習として米沢市民が参加ならびに入会が可能な武道団体や道場（現代武道である柔道・剣道含む）をひとつとて多くを掲載し冊子を作成し、米沢市街へ無償配布する。また、現代の多様化や広域性にあわせて英語表記やホームページ新設も考慮する。 米沢市で開催されている例祭（例えば、四季のまつり）で奉納演武会を実施し、米沢市民の目と心にとまる事業とする。	行政課題型	23.生涯スポーツ活動の推進	スポーツ課	500,000	500,000